

令和8年第3回（8月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	5 番 相澤忠明	1. 瀬戸内市民病院の経営改善と今後の在り方について	(1) 市民病院の経営状況について、今後の見通しをどう捉えているのか (2) 患者数が増える一方で、年間約2億円規模の現金減少が見込まれる中、収入の確保、経費、病床及び診療体制の見直しについて、具体的な目標、取組内容及び実施時期を明らかにできないか (3) 地方独立行政法人化、指定管理者制度の導入、民間譲渡などについて、医療法人への聞き取りを含む官民連携の調査と方向性を示す時期を明らかにできないか	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長
		2. 公共施設等の無料Wi-Fi環境の利便性向上について	(1) SETOUCHI Free Wi-Fiについて、公共施設及び参加施設の設置状況、利用実績、市民や来訪者のニーズをどのように把握し、現状をどう評価しているのか (2) ホームページ上にWi-Fiスポットマップを作成することや未整備施設の調査、整備費用の試算などを行うことは検討できないか。また、これらを行う場合の担当部署、検討手順及び実施時期は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	5 番 相澤忠明	3. 防災備蓄品のデジタルを活用した管理について	(1) 防災備蓄品や災害時に使う資機材について、現在、どの部署が、どのような方法で数量、使用期限、点検状況、保管場所などを管理し、情報を共有しているのか (2) 防災備蓄品の在庫や使用期限などをデジタルで一つにまとめ、必要な職員がすぐ確認できるようにする上での課題は。また、先行自治体の取組や必要な費用を調査してはどうか	市長 副市長 担当部長
2	18 番 小谷和志	1. 市営住宅について	(1) 市営住宅建設の進捗状況は (2) 市営住宅整備の今後の計画は	市長 副市長 担当部長
		2. 園庭開放について	(1) 保育園、こども園及び幼稚園の園庭開放を問う ①安全や防犯等の管理体制は ②破損やけが等の緊急時対応は ③今後の計画は	市長 副市長 教育長 担当部長
		3. 道路整備について	(1) 市道開田線の延伸を考える必要がある。今後の計画は (2) 市道南北線をより活用できるようにする必要がある。今後の計画は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	11 番 日下俊子	1. ゆめトピア長船について	(1) 文化センターについて問う ①今年度の文化センター利用及び公民館利用の月別件数は ②文化センターとしての利用をもっと増やすべきでは (2) 正面玄関の奥にあるこどもの国を改修し、より多くの子どもが楽しめる遊び場にしてはどうか (3) トイレについて、避難所でもあるので洋式トイレの整備を急ぐべきでは (4) 敷地正面入り口について問う ①市営バスが擦れ違えないのでは ②歩道に赤いコーンがいつまでも設置されており、今も工事中に見えるが撤去しないのか (5) 今年 40 周年を迎える菊花展だが、市の花である菊を市内外にもっと大々的に宣伝するチャンスでは	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 新しい自治組織制度について	(1) 進捗状況と今後の計画は (2) 市の想定している組織の枠組みは、コミュニティ単位や小学校区単位など統一されていないが、見直すべきでは (3) 今後、自治組織を維持するための方策は	市長 副市長 担当部長
		3. 水道について	(1) 福山浄水場、長船水源地及び岡山県広域水道企業団、それぞれの給水量と余力水量は (2) 岡山県広域水道企業団の供給料金改定が検討されているが、市の水道料金への影響は (3) 市の水道料金の値上げを回避する方策は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
4	13 番 河本裕志	1. 長船駅について	(1) 少子高齢化が進み、長船駅のバリアフリー化への市民の要望がますます増えている。これまで私を含め多くの議員から質問や要望が行われたが、市の現状の考えを問う ①高齢者にとって陸橋の利用は厳しいと思われるが、対応をどのように考えているのか ②長船駅西口（福岡住宅側）に改札口を設置することは考えないのか	市長 副市長 担当部長
		2. 高齢者対応について	(1) 市長は、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」を政策理念として打ち出して、前例主義を超える攻めの行政運営への転換を考えているが、対外的な施策だけではなく、市民が住みやすい、住んで良かったといえる施策も考えてほしい。そこで、私が高齢者単独世帯を訪問した際に感じた課題について市の対応を問う ①高齢者支援における高齢者は 65 歳以上を指すと考えるが、何らかの支援を受けている介護認定者数を除いた高齢者人口は ②支援のつながりのない高齢者との接点をどのようにしているのか ③民生委員は、どのように関わっているのか ④福祉委員との役割分担が明確にできているのか ⑤プル型支援からプッシュ型支援へ替えて、誰一人取り残さない施策を推進するべきと考えるがどうか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
4	13 番 河本裕志	3. 障がい者支援について	(1) 障がいのある方がいる世帯も、物価高騰や高齢化の影響を受け大変厳しい状況である。障がい者支援について市の考えを問う ①障害者手帳保持者は何人いるのか ②自立支援していく上で施設等の活用が考えられるが、市内の施設数と対応可能人数は ③入所希望施設が待機となり利用できない障がい者への対応は ④市内へ障がい者支援のための入所施設誘致を考えないのか ⑤介護施設などを活用して、障がい者の受入れ体制を整備できないか	市長 副市長 担当部長
5	3 番 原田 茂	1. 農業政策について	(1) 農業機械の大型化に伴い、田んぼの集約化、大規模化をさらに進めることはできないか (2) 気象災害、鳥獣被害、農作物の盗難等、本市の農業に対する被害状況は (3) 農家と農業の今後の生き残り策をどのように考えているのか	市長 副市長 担当部長
		2. 自治会の活性化策について	(1) 自治会の加入率はどうなっているのか。また、減少している場合、その原因はどのようなものが想定されるのか (2) 自治会の加入率が減少すると、本市と市民にどのような不利益が出るのか。また、その対策は (3) 自治会と地域を活性化させるような条例を制定する考えは	市長 副市長 担当部長
		3. 障がい者福祉について	(1) 優先調達の単価と量と種類をさらに増やすべきではないか (2) 障がい者の方の収入を増やす対策は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
6	10 番 川勝浩子	1. 子どもたちの健やかな 育ちの環境のために	(1) 幼稚園の蔵書について問う ①絵本など、かなり傷んでいるものが多いが把握できているか ②今後の対応をどのように考えているか (2) 昨今の異常気象により、小学生が登下校する時間帯は気温が高く、紫外線も強いが、具体的な対策を講じているか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 防災対策について	(1) 今回の熊本地震に際し、応援職員を派遣しているが、派遣状況は (2) 本年、他自治体の小学校で発生した火事に関して、日頃の避難訓練が役に立ったとの報道を耳にした。そこで、本市の小・中学校の避難訓練について問う ①実施時期はいつ頃で、どのような内容なのか ②災害に応じた避難経路は具体的に定められているのか	市長 副市長 教育長 担当部長
		3. 支所、出張所及び教育 委員会の今後について	(1) 行政報告にあった支所等業務の郵便局への委託と教育委員会の移転について問う ①郵便局に委託する業務は、支所等が行っている全ての業務か。一部であるならどの業務を委託して、残りの業務はどうするのか ②支所等を廃止した場合、空いた建物の使い道は ③教育委員会はどこに移転しようと考えているのか	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
7	8 番 成 本 崇	1. 「お迎え型病児保育事業」の導入について	(1) 本市における病児・病後児保育の現状と、保護者から寄せられている課題はどのようなものか (2) 保育士や看護師が保育所・学校等へ迎えに行き、専用の保育スペース等で対応するお迎え型病児保育事業を導入している他自治体の事例をどのように把握しているか (3) 本市において、お迎え型病児保育事業を導入する考えはあるか	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長
		2. 学校教育における「OECDラーニング・コンパス 2030」及び「AARサイクル」の導入について	(1) 変化の激しい社会の中で、児童生徒が自ら見通しを持ち、行動し、振り返る力（エージェンシー）を育成することの重要性について、本市の認識はどのようなものか (2) OECDラーニング・コンパス 2030 及び AAR（見通し・行動・振り返り）サイクルについて、本市における研究・研修等の取組状況はどのようなものか (3) AARサイクルの考え方を、日々の授業づくりや学級経営、キャリア教育等に取り入れていく考えはあるか (4) 教員が AARサイクルを実践的に指導できるよう、研修体系を整備する考えはあるか	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
7	8 番 成 本 崇	3. 小規模多機能自治の導入と集落支援員による推進について	(1) 人口減少・高齢化が進行する中、自治会単位による地域運営の現状と課題をどのように認識しているか (2) 現在実施している「地域自治組織制度づくり支援業務」の進捗状況及び目指す地域自治組織の姿はどのようなものか (3) 集落支援員（専任・兼任）の配置状況、活動実績及びこれまでの効果への評価はどのようなものか (4) 小規模多機能自治の先進事例を踏まえた本市独自の制度設計の方向性及び集落支援員を将来の地域自治組織の運営人材として育成・登用していく考えはあるか	市長 副市長 担当部長
8	7 番 鳶 原 舞	1. 行政コスト削減に向けた郵便局への行政業務委託と市民サービスの向上について	(1) 本年6月に成立した改正郵政民営化法等により、公共サービスの提供が日本郵便の本来業務として位置付けられ、全国的に自治体からの委託が加速している。本市には、市民が行政手続を行う支所及び出張所が3か所あるが、居住地域によってはアクセスが困難な状況にある。市は、こうした市民の利便性における課題と、改正法が本市にもたらす効果について、削減される具体的なコストも踏まえ、どのように認識しているのか (2) 大阪府寝屋川市のサービスゲートでは、「市民を動かさない」ことを目的として、離れた本庁舎にいる職員と市民とをオンラインでつなぐ「遠隔窓口システム」を導入し、市民が移動することなく行政手続を完結できる環境を実現している。本市においても、市内10か所の郵便局に同様のシステムを設置し、本庁職員がオンラインで対応する仕組みを導入することで、近場で行政サービスが確保できると考えるが、市の見解は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
8	7 番 鳶原 舞	1. 行政コスト削減に向けた郵便局への行政業務委託と市民サービスの向上について	(3) 支所及び出張所を廃止、再編する場合、居住地域から身近な公共施設がなくなることへの市民の不安や反発といった感情的な側面も無視できない。こうした市民感情に真摯に向き合い、理解を得るためには、行政サービスの代替手段を確保するだけでなく、廃止後の施設を子育て施設や高齢者支援施設、観光拠点といった地域に必要な施設へ転換するなど、市民がメリットを実感できる利活用策を合わせて提示することが不可欠である。市民感情への配慮と利活用の方針について、どのように取り組む考えか	市長 副市長 担当部長
		2. 脱炭素社会の実現に向けた公共施設へのマイボトル対応給水スポットの設置について	(1) 国が 2050 年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、自治体においても脱炭素に向けた具体的な取組が求められている中、使い捨てペットボトルの製造、廃棄に伴い排出されるCO ₂ やプラスチックごみの削減は、身近な環境施策の一つとして重要性が増している。近隣市町においては既に、脱炭素・ごみ削減の取組としてマイボトル専用の無料給水スポットを公共施設に設置しており、夏季における来庁者や職員の熱中症予防にも効果を上げている。本市においても、近隣市町に遅れることなく早期に導入し、市が率先して脱炭素社会の実現に取り組む姿勢を市民に示してはいかがか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
8	7 番 畠原 舞	3. 広報紙のデジタル化推進に向けた紙媒体配布の見直しについて	(1) 本市において紙媒体が不要な世帯を対象としたエリアテストを実施しているが、現時点における試行の経過と成果、課題について市の認識は (2) 高齢者等のデジタル機器に不慣れな市民への情報格差が生じることや、自ら収集する人にしか情報が届かないデジタル広報の課題を、今後どのように考えていくのか	市長 副市長 担当部長
		4. 妊産婦タクシー助成事業の利用状況と課題について	(1) 事業を開始してからの妊産婦数と利用状況は。また、市が把握している課題及び利用促進に向けたこれまでの取組は (2) 利用状況や課題を踏まえ、対象期間の拡充や制度の周知強化など、対象者がより使いやすくなる制度への見直しを検討しては	市長 副市長 担当部長
9	9 番 秦井誠司	1. 子どもの遊び場について	(1) こどもひろば推進事業について問う ①令和7年度決算資料によると、事業費950万円を支出しているが、その成果と評価は ②参加者の満足度、意見収集の結果や視察に訪れた他自治体からの評価は (2) 本市の風光明媚な景色は魅力の一つであり、移住者は自然を活用した遊び場を求めていると思われるが、この点についてどのように認識しているのか (3) 令和9年度に向けた具体的な課題及びその取組は	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
9	9 番 秦井誠司	2. 市営バスについて	(1) 令和 8 年度第 1 回地域公共交通会議資料によると、市営バスの運行経費が前年度より増額となっているが、これにより利用者の状況は (2) その数字の評価は (3) 第 2 次瀬戸内市地域公共交通計画を策定するため、約 729 万円の補助金交付をしているが、この策定によりどのようなことをいつまでに達成しようとしているのか (4) その計画の進捗状況は (5) 市民の満足度や利用改善の意見などはどのように聞き取り、具体的な声はどのようなものがあるのか (6) そこから得られた課題及び今後の対策は (7) 令和 9 年度に向けた改善案をどう考えているのか (8) 市営バス運行業務における今後の方向性は	市長 副市長 担当部長
		3. 病院事業について	(1) 令和 7 年度瀬戸内市病院事業会計決算書によると、病床利用率は向上しているにもかかわらず、経常収支比率及び医業収支比率がマイナスとなっているが、その理由は (2) 入院患者 1 人 1 日当たりの収益が落ちているが、その評価は (3) 令和 7 年度瀬戸内市病院事業会計決算書を踏まえた病院事業における業績及び評価は (4) 令和 9 年度に向けた課題及び対策は	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
10	14 番 島津幸枝	1. 中学校部活動の地域移行について	(1) 地域移行に関して、中学校及び地域への説明はどのように実施してきたか (2) 進捗状況は (3) 今後の計画は (4) 本市のスポーツ振興に関する市長の見解は	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 市民病院の今後の在り方について	(1) 瀬戸内市民病院経営強化プランにおける令和7年度の数値目標に対して未達成だった要因は (2) 令和8年度の収支見込みは (3) 今後の瀬戸内市民病院経営強化プランの着眼点は (4) 市民病院の果たす役割をどのように考えているのか	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長
		3. 支所・出張所の今後の在り方及び教育委員会の移転について	(1) 行政報告に、支所及び出張所の業務を委託することで、市民の利便性の向上を図るとあるが、どのような点で利便性が向上すると考えているのか (2) 行政報告に、郵便局に業務を委託し、支所及び出張所を廃止することで行政コストを削減するとあるが、その根拠は (3) 支所及び出張所の廃止について、庁内検討を始めることを行政報告に盛り込むことに決定した経緯は。また、今後の検討はどのように進めていくのか (4) 教育委員会を移転することが行政報告で明らかにされたが、なぜか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
11	4 番 増田貴之	1. 農業問題について	(1) ジャンボタニシによる水稲への被害状況をどの程度把握しているのか。また、対策をどのように考えているのか (2) 耕作放棄地と解消事業の推移はどのようになっているのか。また、課題と対策をどのように考えているのか	市長 副市長 担当部長
		2. ごみ行政について	(1) 指定ごみ袋改定後、燃やすしかないごみとプラごみの数量の推移は (2) 旧ごみ袋（黄色）の交換後の在庫と旧町時代の透明ごみ袋の在庫数量は (3) ごみステーションでの新旧ごみ袋の混在や不分別の状況をどの程度把握しているのか。また、その対策は	市長 副市長 担当部長
		3. 駅前等の整備について	(1) 長船駅前駐車場の増設によって駐車台数はどう推移しているのか。また、邑久駅前駐車場の利用状況は (2) 長船駅のバリアフリー化の進捗状況は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
12	2 番 廣野真智子	1. 安心・安全のまちづくりについて	(1) 消防施設について問う ①牛窓分駐所の建て替え予定は ②屋外用のシャワー設備が必要ではないか ③本署の各設備の改修計画はあるのか (2) 今年度から定期的な開催を行うこととした普通救命講習会について問う ①これまで開催した講習会の評価は ②今後開催する講習会の集客方法は ③何度も受講してもらうための方策は (3) 熊本地震における本市の支援について問う ①どのような災害支援を行ったのか ②活動経験を本市の災害対応にどう生かすのか	市長 副市長 担当部長
		2. 観光振興について	(1) 牛窓の観光施策について問う ①駐車場不足解消の進捗状況は ②オリーブロードからの景色の支障となる樹木伐採の進捗状況は ③観光客誘致に向けた今後の方策は (2) 備前長船刀剣博物館及び瀬戸内市立美術館において、来館者が多い時、トイレ不足が問題となるが、その対策は (3) おさふねサービスエリアとの連携について問う ①建て替えの進捗状況を把握しているのか ②官民連携で道の駅として整備することはできないのか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
13	17 番 石原芳高	1. 決算審査意見書について	(1) 監査委員の指摘事項についての所見を問う (2) 今後の行政運営に反映していくのか	市長 副市長 担当部長
		2. 職員のコンプライアンスについて	(1) 職員のコンプライアンスに対する意識をどのように考えているのか (2) 合併から 20 年を経過し、改めて業務に対する意識や取組方を精査すべきでは	市長 副市長 担当部長
14	12 番 厚東晃央	1. 子育てしやすいまちについて	(1) 常設屋内遊び場整備の進捗状況と今後の計画は (2) 登下校中の熱中症対策など安全を守るための対策と今後の見解は (3) (仮称) いじめ監察室の進捗状況は	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 障がい者とその家族への支援について	(1) 福祉避難所の数など指定施設を増やしたり、指定施設の整備を充実しては (2) 生活介護の対象者など通常の避難が困難な方の避難計画をつくり、それぞれの家庭で対応できるようにするための支援が必要ではないか	市長 副市長 担当部長
		3. 安全・安心のまちづくりについて	(1) 避難所となる小学校や社会体育施設の体育館にエアコンを設置する計画は (2) 蜂の巣を駆除するための補助金を創設しては	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
14	12 番 厚東晃央	4. 前例主義を超える攻めの行政運営への転換について	(1) 政策検証はどのように行うのか (2) 事業サンセット制度の詳細は	市長
15	15 番 原野健一	1. 企業誘致について	(1) 企業誘致を促進するために、企業進出コンシェルジュを開始しているが、今までとどう変わるのか (2) 企業からの問合せを待つだけでなく、企業誘致に向けた取組をどのように考えているのか (3) 令和6年11月、アイリスオーヤマ株式会社と立地協定及び包括連携協定を締結したが、その後のコンタクトは取れているのか	市長 副市長 担当部長
		2. 錦海塩田跡地のメガソーラー用地について	(1) 現在までの市有土地賃貸料の総額と、太陽のまち基金の残高は (2) くにうみアセットマネジメント株式会社の倒産後、本市及びメガソーラー事業者に対し、何ら一切影響はなかったのか。また、今後もないのか (3) メガソーラー用地の周辺地域とコラボさせた新しい企画を考えられないのか	市長 副市長 担当部長
		3. 消防団組織について	(1) 災害時には消防団員の機動力が不可欠であり、また、頼りにもされているところであるが、今後は各自治会の自主防災組織との関わり合いも考慮した新しいマニュアルを作成するべきではないのか	担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
16	6 番 木下公文	1. 自治会を対象とする市民活動応援補助金について	(1) 過去3年間の実績は (2) 使い勝手が悪いと聞くが、今後の改善策は (3) 市民にどのように周知しているのか	市長 副市長 担当部長
		2. 地域経済の活性化及び地元産業の振興策について	(1) 現在の取組状況は (2) 中小企業支援や雇用創出に向けた今後の施策は	市長 副市長 担当部長
		3. 鹿忍港のしゅんせつ工事について	(1) 地元から要望が出ているが、現在の取組状況は (2) 近隣住民への説明はどのようにしているのか	市長 副市長 担当部長
		4. 牛窓地域の市有施設について	(1) 牛窓西幼稚園や旧牛窓学校給食調理場のような現在利用されていない施設はどれだけあるのか (2) これら施設の維持管理の状況は。また、今後どのような対策を取るのか	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
17	1 番 谷 美香	1. 児童・生徒が健やかに 学校生活を送れる環境 整備について	(1) 火災などで普段の避難経路が使えない場合や、休み時間など教職員と児童・生徒が別々の場所にいる場合を想定した避難訓練や危機管理マニュアルの見直しは行われているのか (2) 令和8年度は中学校体育館の空調整備が進められているが、小学校体育館の計画はどうなっているのか (3) 学校給食では年間どのくらいの残菜が発生し、その処理にどのくらいの費用がかかっているのか。また、残菜が発生する原因をどのように把握し、どのような取組を行っているのか (4) 小1グッドスタート支援員について問う ①配置状況とその効果は ②学校現場のニーズをどのように把握しているのか ③県の配置基準に該当しない学級にも、必要に応じて配置できないか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 安心して出産・子育て できる環境整備につい て	(1) 近隣の分娩施設が減少する中、本市の周産期医療を取り巻く現状をどのように認識し、今後どのような対策を講じていくのか (2) 産前産後のオンライン診療について岡山大学へ相談するとの答弁があったが、その後の協議状況、実証の有無及び今後の見通しは (3) 妊娠期から切れ目のない支援を行うため、産前ケアを新たに加えるとともに、既存の産後ケア事業をさらに拡充してはどうか	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長